

オンデマンド印刷で

新機種導入

白の印刷が可能になりました!

先月に引き続き、ホワイト(白) トナーを使ったオンデマンド印刷の活用例です。

WHITE PRINTING

Part
3

ホワイトトナー × 濃色封筒



濃色に白字の封筒を使用した「招待状」「DM」は高級感があり、ターゲットを絞ったイベントや販促に最適です。シンプルなのに存在感たっぷりの濃色封筒 + 白印刷を活用し、イベントの付加価値を高めることができます。



株式会社 宏和

Kowa Corporation

東大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313 FAX 06-6789-2339

<https://www.d-kowa.co.jp/>

<https://scanning.jp/>

オンデマンド印刷 会社案内、パンフレット、チラシ、名刺、カード、封筒、シール、伝票、表彰状
冊子印刷 取扱説明書、カタログ、記念誌、広報誌、報告書、論文、自分史
電子化業務 紙文書・紙図面スキャン(電子化)サービス、データエントリー(入力)、データコンバート
CAD業務 CADデータ出力、CADデータ入力(トレース・設計)、電子納品データ作成
コピー・製本 大判コピー、カラーコピー、各種製本、ラミネート、パネル・看板制作
その他 人材派遣、人材紹介、マイクロ撮影、マイクロフィルムスキャン、WEB制作

コウカノカ

11

Vol.50

発行者：株式会社宏和
所在地：〒577-0012 東大阪市長田東 1-7-22

TEL 06-6789-2313

(株)宏和

(株)宏和が毎月お客様へお役立ち情報をお届けします。

コウカノカ

MONTHLY NEWS LETTER Vol.50

2019

11

November



消費税増税を機に9月からスマホ決済を始めました。コンビニで100円コーヒーを買うと引き落とされるのは98円、更に10月はキャンペーンだったようで20%還元など目に見えて節約がわかります。使ってみると結構便利で、コンビニATMで現金をチャージできるのもわかりました。現金決済が減ると、レジ締めや現金管理等の手間が減り、人手不足対策にはキャッシュレス化が有効です。

代表取締役 日笠宏昭

プールB



9/22(日) 14:15

Reported by H

応援用の扇を配っているテントは大行列、公式グッズ売り場も大行列です。入場の際には持ち物チェックを受けて入場です。(飲食物の持ち込み禁止) 席を確認した後、大行列の売店に並んで、ビー



東花園駅前のデコレーション



記念撮影

12時過ぎに近鉄の東花園駅に到着し、曇り空のもと、行列に加わってラグビー場への道をゆっくと進みます。外国人もちらほらいますが、強豪チームの試合ではないので、そんなに目立ちません。ラグビー場のある公園内に入ると、あちこちに記念撮影用のボードがあり撮影する人で賑わっています。

合はナミビアがトライで先行しましたが、その後イタリアが優勢で3トライを記録し21対7でハーフタイムです。ハーフタイムの直前から雨が降り出し、多くの観客がスタンド下に移動、トイレは大行列となりました。後半が始まって雨はやま



試合中：スクラム

ルを購入しましたが、食べるものがほとんど売切れで閉口しました。(苦情が殺到したようで、後日、主催者側が食べ物の持ち込みを可としました。) 観客は約2万人でほぼ満員。選手入場、国歌演奏の後、カウントダウンで試合開始です。センターライン付近のグラウンドに近い席だったので選手がぶつかり合いやスクラムは迫力満点です。試合開始で

東花園駅までの「スクラムロード」が歩行者天国になっていました。甲子園の阪神戦(今年の平均観客数4万3千人)に比べると大した混雑もなくスムーズに帰途に着きました。



観客にあいさつ

ず一時は激しく降りましたが、15分ほど雨がやんで明るくなりました。後半もイタリア優勢で試合が続き、終了間際にナミビアが意地のトライを返しましたが47対22でノーサイド。イタリアが勝利しました。終了後、両チームともスタンド前(4方向全部)に整列し順次、「おじぎ」で挨拶をして引きあげていったのが印象的でした。A席1万5千円でしたが、お祭りムードでラグビーを楽しめて良い体験になりました。帰り道は、



「4年に一度じゃない。一生に一度だ。」ラグビーワールドカップ2019観戦記

予想以上に盛り上がったラグビーワールドカップ。このニュースレターが出る頃には、優勝が決まっています。今月は、弊社の地元、東大阪の花園ラグビー場で行われた試合の観戦記です。

プールD



10/3(木) 14:15

Reported by Y

のようです。試合開始30分前、やっと売



大行列の公式グッズ売り場

雨が降り始めました。時折、ジョージアサポーターの大鼓の音と奇声が聞こえてきます。並んでいるとx印のついた商品情報が回覧されてきます。どうやら売り切れ商品の

から、売り場に到達するのに30分では厳しいと判断し、グッズをあきらめて入場しました。入口で手荷物チェックがありま



試合中：ラインアウト

した。試合はお決まりのフィジールのウォークライ(注1)のあとカウントダウンで試合開始、前半はほぼ互角の戦い(ジョージア3対9フィジー)で、後半に入ると

フィジーの一方的な展開になり、ジョージア10対45フィジーでノーサイド。普通のテストマッチ(ナショナルチーム同士の試合)とは違う、ワールドカップという一種独特の大きなイベントの醍醐味を十分満喫することが出来た1日でした。



試合中：スクラム

(後日談ですが、グッズは「THE OFFICIAL #RWC2019 ONLINE SHOP」で購入しました。)

